

## 関西の鉄道会社初！ ムスリム(イスラム教徒)のお客さまを対象とした 祈祷室を9月30日(火)に開設します

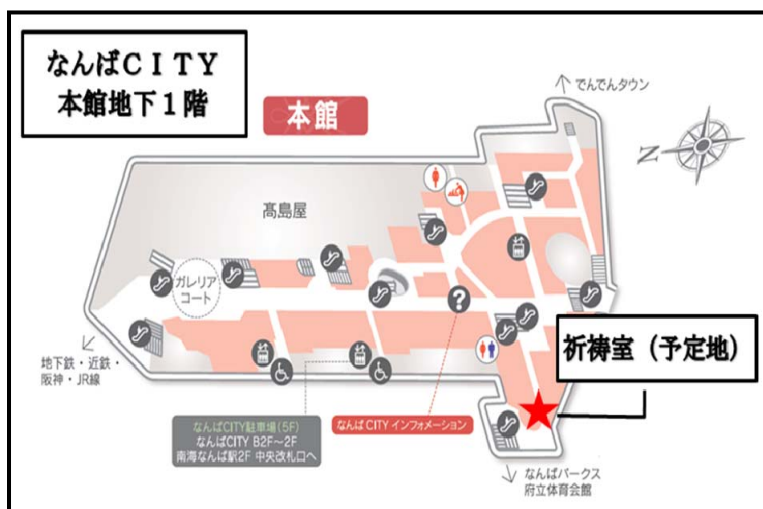
南海電鉄(本社:大阪市浪速区/社長:亙 信二)では、現在推進中の中期経営計画「凜進130計画」において「観光・インバウンドビジネスの推進」を基本方針の1つに掲げ、様々な取り組みを進めています。

そしてこのたび、ムスリム(イスラム教徒)が多い東南アジア諸国からの訪日外国人旅客数の増加を受けて、なんばCITY本館地下1階に「祈祷室」を整備することを決定しました。また、これ以降も、飲食店舗でのポークフリー・アルコールフリーメニューの充実などサービス拡充に取り組んでいきます。

これらの対応を充実させることで、飛躍的に増加しているムスリム圏からのお客さまに満足いただき、当社線ならびに当社施設の利用を促進したいと考えています。

### 祈祷室の整備について

1. 開設予定日 平成26年9月30日(火)
2. 場 所 難波駅直結・なんばCITY本館地下1階(大阪府中央区難波五丁目1-60)
3. 施設概要 男女別々に礼拝できるように、室内はパーテーションで区切られています。  
また、礼拝前に身体を清めるための「小浄施設」を男女別に設置します。



祈祷室の設置場所



祈祷室外観イメージ

<参考>

最近の訪日外国人旅行者増加に対するサービス状況

項目	内容
ムスリム関係	なんばCITY南館2階「デリステーション&カフェ」において、ハラール認証食品を販売
免税・お土産・飲食関係	なんばCITY、なんばパークスでの免税店舗の拡大 ・なんばCITY 10月から合計約60店舗に（約20店舗増加） ・なんばパークス 10月から合計約100店舗に（約10店舗増加）
	なんばCITY南館2階「コクミン」で日本のお土産販売コーナー設置（平成26年6月 実施済み）
	南海そば各店舗（南海なんば駅2階・南海なんば駅3階・天王寺・新今宮・三国ヶ丘）で、すべてのメニューを4言語化（平成26年9月 開始予定）
施設関係	コインロッカーの増設（昨年末から増設し、難波駅を含むターミナルビル全体で現在計12箇所に設置済み）

以上